

国立国際医療研究センター

国際医療協力局 しみず えいち 清水栄一 上級研究員が

WHO 本部ワクチンのマーケットアクセスに関する技術諮問委員 に任命されました

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局の清水栄一上級研究員が、WHO（世界保健機関）本部のワクチンのマーケットアクセス技術諮問委員（Technical Advisory Group on Market Information for Access to Vaccines/TAG-MI4A）に任命されました。諮問委員会は10名の技術専門家で構成されます。

2018年、WHOはユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のため、安全で品質の高い安価なワクチンへのアクセス向上を目的として、MI4Aイニシアチブを立ち上げました。世界150カ国以上を対象に、ワクチンの需要量と供給量を把握し予防接種への公平なアクセスを推し進めるため、Global Market Study（グローバル市場調査）を行っています。これまで10種以上のワクチンを対象とした調査が公開されております。諮問委員には、これら調査方法やWHOのワクチン調達に関するガイドライン等への技術的な貢献が求められています。

清水上級研究員は、諮問委員の一人として大きな役割が期待されています。任期は2023年6月から2年間の予定です。



清水栄一 上級研究員

★清水栄一上級研究員プロフィール

- 1996 国立療養所犀潟病院（現さいがた医療センター）精神科ソーシャルワーカー
 - 1997 青年海外協力隊でタンザニアへ派遣
 - 2001 コーネル大学大学院国際開発学修士課程修了
 - 2002 JICA 本部医療協力部（現人間開発部）調査研究員
 - 2004 ユニセフ ナミビア事務所 モニタリング&評価担当官
 - 2007 GAVI アライアンス（現 Gavi ワクチンアライアンス）資金調達部
 - 2011 JICA ケニア事務所 広域企画調査員（アフリカ国際保健）
 - 2014 スーダン連邦保健省アドバイザー（JICA 長期専門家）
 - 2016 クラウンエイジェンツ・ジャパン株式会社
 - 2017 国立国際医療研究センター国際医療協力局 入局
 - 2018 JICA ザンビア
UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）のための基礎的保健サービスマネジメント
強化プロジェクト出向
 - 2020 長崎大学より MPH（公衆衛生学修士）取得
- 現在、国立国際医療研究センター国際医療協力局 連携協力部 展開支援課 上級研究員

【国際機関で委員等「規範セッター」を務めている国際医療協力局局員】

国際医療協力局には「規範セッター」と言われる「高度な専門性を持ち国際的組織技術諮問委員などに参加し、国際的規範・基準づくりに携わる委員」※が多く在籍し、WHO ガイドラインの策定や評価等に携わっています。

「国際規範をつくる場」に日本人をおくり、国際的影響力を強めていくことは、保健医療外交上もきわめて重要なことです。

※厚生労働省 国際保健に関する懇談会 国際保健政策人材養成ワーキンググループ報告書より

2023年7月現在

局員	委員名等	就任時期 任期
永井真理 医師	WHO 本部:避妊具の使用に関する医学的な適格基準および具体的な実践に関する推奨の策定委員会	2022年11月 定めなし
野崎威功真 医師	グローバルファンド※:技術評価委員会技術評価委員(HIV)	2020年8月～ 4年
宮野真輔 専門職/医師	WHO 西太平洋地域事務局:HIV 梅毒母子感染排除に関するアジア太平洋 地域専門家パネル委員	2018年5月～ 定めなし
	グローバルファンド※:技術審査委員会技術審査委員(結核) 結核専門家チームリード	2020年4月～4年 2021年4月～3年
馬場俊明 医師	WHO 本部:ガイドライン評価委員会 外部委員	2018年1月～ 3年X2回
小原ひろみ 専門職/医師	WHO 西太平洋地域事務局:新生児プログラム 独立レビューグループ委員	2015年11月～ 定めなし
	WHO 本部:「妊娠出産と周産期の優先 WHO 推奨改訂」に関するガイドライン策定委員	2018年5月～ 複数推奨策定完了まで
	WHO 本部:母と新生児情報の成果と結果トラッキング技術諮問委員会委員	2020年12月～ 2023年2月
駒田謙一 医師	パンデミックファンド:技術諮問パネル(Technical Advisory Panel)	2023年5月1日より 活動開始
清水栄一 上級研究員	WHO 本部ワクチンのマーケットアクセスに関する技術諮問委員	2023年6月～ 2年

※グローバルファンド (グローバルファンド日本委員会ホームページ <http://fgfj.jcie.or.jp/global-fund> より)

和文組織名:世界エイズ・結核・マラリア対策基金 略称:グローバルファンド

低中所得国の三大疾病対策のために資金を提供する機関として、2002年1月にスイスで設立。

国際社会から大規模な資金を調達し、低中所得国が自ら行う三疾病の予防、治療、感染者支援、保健システム強化に資金を提供。

支援の対象は、100以上の国・地域にのぼる。年間拠出額は約30億～40億ドル。

【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国立国際医療研究センター国際医療協力局は、グローバルヘルス分野における専門機関として、厚生労働省、外務省、国際協力機構（JICA）等の政府・関係機関や、世界保健機関（WHO）をはじめとする国際機関、大学・研究機関・学会等のアカデミア、さらには NGO や企業等の幅広いパートナーと連携し、低中所得国における技術協カプロジェクトへの専門家派遣、国内外の保健医療人材の育成のための講座や研修の提供、国際保健医療の研究、国際会議等を通じた政策提言など、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るためさまざまな活動を行っています。

★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

昆 弘人

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744、PHS：5525

E-mail : koho@it.ncgm.go.jp

<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/index.html>